東京学芸大学附属世田谷中学校公開授業研究会 公開授業 第２学年 保健体育科学習指導案	授業者	谷　百合香
	授業学級	２年Ａ組（男子１７名, 女子１７名）
授業テーマ	ソフトバレーボール（キャッチあり）～問題解決に向けてゲーム分析をしよう！～	

１．本時の目標

○競争課題を達成するためにゲームにおける必要な技能を理解して身に付け、チームに貢献することができる。【知・技】

○ゲームの動画等を分析することで自分やチームの課題を明確にし、状況を判断しながらゲームに参加することができる。【思・判・表】

○自分の役割（係分担、ゲームの役割）を明確にし、互いを尊重し、主体的・積極的に動くことでチームに貢献することができる。【主体的に学習に取り組む態度】

２．本時の位置づけ

球技におけるネット型の「ソフトバレーボール（キャッチあり）」を行う。競争課題である「いかにボールをネット際に送り出し、相手コートにボールを落とすか、いかに守って自分のコートにボールを落とさせないか」をもとに、動画（ゲーム）を分析し、チームの作戦やチーム練習に活かして課題解決を目指す。動画はロイロノートを使用して共有し、ゲームを分析、さらに個人で評価（作戦実行等）したプレーをトリミングしコメントを入れてパフォーマンス評価として提出させる。

３．本時の概要

（１）ゲーム分析の視点

これまで、競争課題を達成するためのチームの課題や個人の課題を、チームごとに考えさせてきた。今回は動画分析を行う上で、攻撃では「ネット際にボールを送り出す」「相手コートに落とす」場面、守備では「自分のコートにボールを落とさせない」場面において、どのような視点が必要かKW（キーワード）を出し合い、クラスで共有する。例えば、ネット際にボールを送り出す場面でのゲームを分析する視点として、「パス」を挙げた場合、パスの種類や高さ、キャッチのタイミングといったことを動画分析の視点にする。また、「自分のコートにボールを落とさせない」場面では、「ポジション」という視点で分析した場合、ボールが落とされにくい陣形とは何かといったことが分析の視点となる。これまで単元の後半になれば出てきた視点を、単元前半から提示し、視点をもとに動画分析をし、課題を発見することにつなげたい。具体的な練習方法についても、動画を分析し、課題（理由）を明確にした練習計画を立て、個人やチームの技能向上を目指す。また、対戦相手のプレー（動画）にも注目させ、作戦を変更するといったことに活用できればと考える。

（２）情報活用能力について

動画を観ながら作戦を立てる時、得点が決まるシーンにばかりに目がいくことはよくあることで、単元の後半にいくにつれ様々な視点から動画を観ることができるようになっていく。

今回の実践では、単元前半に動画を分析する視点を具体的に考えてチームやクラスで共有することとする。この視点をもって動画を分析することで、より作戦やチーム練習に必要感を持って取り組むことができるのではないかと考える。先ほどの例のように「ボールをネット際に送り出す」といった場合、

・パスの種類は何が適切だったのか
・どんな高さが次のプレーにつなげやすいのか
・パスの技能は…

といったように課題が明確になると予想している。この動画という情報を分析（評価）し、課題を見つけてチームで共有し、解決するための手立て（チーム練習）を考えて、課題解決に向けて実行し（練習する）、そして、練習したことをゲームに活かす、といった流れで授業を展開していく。この一連の取り組みの中で課題解決に向けた情報活用能力が育成されていくと考えられる。

４．本時の展開

主な学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点
〈１．導入〉　（１０分） ・チャイムランニング（３周） ・出席確認（リーダー） ・ストレッチ・ウォーミングアップ（トレーナー中心） ・学習カード確認（マネージャー、コーチ中心） 〇集合・流れ確認 ・競争課題 「いかにネット際にボールを送り出し相手コートに ボールを落とすか、いかに自分のコートにボールを落とさせないか」 を確認する。 ・対戦ボードの確認 ・作戦やゲーム分析の視点を共有する。	・係を中心にチームで協力して取り組むように促す。 ・欠席者がいるチームの助っ人や動画撮影者の確認をする。 ・コーチを中心に前回の授業の振り返りをさせ、課題を踏まえた動画分析の視点を共有するように促す。
〈２．展開〉（１）　（１５分） 〇ゲーム① ２分半－１分半（ミーティング＆コートチェンジ）－２分半 黄－赤（１コート）緑－青（２コート）ピンク－水色（３コート） ※オレンジは助っ人 or 撮影 or 審判 〇移動 〇ゲーム② ２分半－１分半（ミーティング＆コートチェンジ）－２分半 水色－ｵﾚﾝｼﾞ（１コート）赤－緑（２コート）青－ﾋﾟﾝｸ（３コート） ※黄は助っ人 or 撮影 or 審判	・ゲーム前後の挨拶を徹底する。 ・危険予測、回避を自分たちでできるように声掛けする。 ・動画撮影はコート全体が映るように指示する。 ・動画分析に必要ないシーンはすぐに削除するように促す。 ・作戦を実行しようとしているチームに＋の声掛けをする。 ・ミーティングが停滞しているチームに声掛けをする。
〈２．展開〉（２）　（２０分） 〇チーム練習 →動画を分析して、チームの課題を明確にし、課題を解決するための　チーム練習を行う（コーチ中心） 〇ゲーム③ ２分半－１分半（ミーティング＆コートチェンジ）－２分半 黄－緑（１コート）水色－青（２コート）ﾋﾟﾝｸ－ｵﾚﾝｼﾞ（３コート） ※赤は助っ人 or 撮影 or 審判	・分析の視点を明確にした上で、動画を分析するように促す。 ・チームの課題を解決するための練習をしているかコーチ中心に声掛けをする。 ・練習や作戦をゲームに活かすことができているチームに＋の声掛けをする。
〈３．まとめ〉　（　５分） 〇集合・まとめ ・新たなゲーム分析の視点があればクラスで共有する。 ・ルール改正案がある場合はクラスで共有する。 ・練習や作戦をゲームに活かすことができているチームを紹介する。	・ゲームを分析する視点が新たに出るチームがあるか、ミーティング時に確認する。 ・ゲーム中にルール等で確認が必要であれば、全体で共有する声掛けをしておく。 ・ゲーム中、練習や作戦を活かすことができているチームを見取る。